

菊川市長 太田 順一 様

補助金等の見直し評価に係る提言書

私たち菊川市行財政改革推進懇話会委員 10 名は、貴職から「菊川市行財政改革推進懇話会委員」として委嘱され、市が交付している補助金等について、所管する部及び課から個別に聞き取りを行い、その必要性や妥当性について客観的な視点から審査・評価を行ってきた。

今回、個々の補助金等の評価結果を提言として別紙のとおり取りまとめたので報告する。

市においては、この評価結果及び委員の意見をできる限り尊重し、今後の補助金等の見直しにあたって、活用されることを期待する。

平成 26 年 10 月 8 日

菊川市行財政改革推進懇話会

1 評価対象の補助金等

平成 25 年度現在において補助金交付要綱等で制度化又は予算化されたもののなかから評価対象となる補助金 112 件のうち、菊川市行財政改革推進懇話会で抽出した次の 5 件について、評価を行った。

- (1) 菊川市自治会連合組織運営費補助金
- (2) 菊川市 1 %地域づくり活動交付金
- (3) 社会福祉法人菊川市社会福祉協議会補助金
- (4) 菊川市自然エネルギー利用促進補助金
- (5) 経営改善普及事業補助金

2 評価の方法

補助金等の評価については、所管課で作成した補助金評価シート、補助実績資料、補助金交付要綱、事前質疑に対する回答等の関係資料をもとに所管する部及び課から個別に聞き取りを行い評価した。

なお評価については、次の 4 区分に分類した。

- (1) 「継続」…現行のとおり継続するもの
- (2) 「重点化」…補助対象の拡大、補助率の増などの重点化するもの
- (3) 「縮小」…補助対象の制限、補助率の減などの縮小をするもの
- (4) 「終了」

3 評価の結果

No.	補助金名	評価
1	菊川市自治会連合組織運営費補助金	縮小
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 %地域づくり活動交付金という形で市として特色を出しており、そちらに肉付けしていくのは良い方向である。 ・ 自治会役員の方たちは、地域活動等で苦勞されており、市民との協働の原型であるため、高く評価すべき。 <p>○懇話会の評価として、①菊川市連合自治会運営費と②地区自治会運営費については、継続して③コミュニティ協議会推進費については、別の形で交付するため外すとし、形式的には縮小とするが、実質は継続という形での運用を期待する。(縮小 9 票)</p>	

No.	補助金名	評価
2	菊川市1%地域づくり活動交付金	重点化
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・当該活動について、できるだけ参加人数を増やすと同時に参加人数一人あたりの単価をできるだけ平準化させた方が市民の理解が得られるのではないか。 ・コミュニティ協議会等の活動は、継続しないと意味がない。この交付金は、ほとんどが事業費であるため、実績を踏襲した額であり特に変更する必要がないと考える。 ・この交付金については、団体の申請に対して審査会でしっかり審査し、その地域のためにそれぞれの団体が非常に役立つ活動がされれば、生きてくる交付金ではないかなと感じる。 <p>○懇話会の評価として、菊川市自治会連合組織運営費補助金との関連や上記意見を踏まえ重点化とする。(重点化9票)</p>	

3	社会福祉法人菊川市社会福祉協議会補助金	縮小
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会は、今までの事業を見直すなかで、これからの福祉的ニーズに対応するような事業展開が必要である。 ・積立金の額を見れば、補助金は少しカットしても十分やっていけるのではないか。 ・ある程度スリムになってやらざるを得ない事業はやるが、そうでないものは民間へ出していく時代と考える。 <p>○懇話会の評価として、担当課からの評価同様に見直しの時期に入っているため、専門的な組織を立ち上げて見直しや改革を行う事が望ましく縮小とする。(縮小9票)</p>	

4	菊川市自然エネルギー利用促進補助金	縮小
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の施策や機器の価格の変化を踏まえ、市の目標が達成されているならば縮小は当然と思われる。また、県が廃止すれば、当然そこで廃止するくらいの方向性は必要だと思われる。 ・太陽光発電関係の企業を誘致するなど、もっと別な方向で自然エネルギーの活用を取組んだ方がよい、ぜひその辺の補強をしていただきたい。 <p>○懇話会の評価として、目標の達成状況、国や県の施策の変化から縮小とし、最終的には制度そのものを再検討すること。(縮小9票)</p>	

5	経営改善普及事業補助金	縮小
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな指導や事務の代行などで、本来自分でやるべきものを会員という特典の中で享受している。相談や指導が必要な場合は、受益者負担で行うべきではないか。 ・ 商工会の独自事業についても、商店等の活性化が図られているか等の見直しを常に行うことが大事だと思われる。 ・ 「深蒸し菊川茶ペットボトル」のような事業で市の発展につなげるような取組があれば、継続でなく重点化という評価でもいいのではないかという気持ちがある。 ・ 菊川市は、小規模事業者が非常に多く、そこが弱点でもある。その視点も見据えないと、ただ単に減らすというのはどうかと思う。 <p>○懇話会の評価として、上記意見より継続、重点化、縮小の評価に分かれたが、受益者負担という観点から補助対象を精査する中での補助をするよう多数票の縮小とする。(継続3票、重点化1票、縮小5票)</p>	

4 菊川市行財政改革推進懇話会開催経過

平成 26 年 7 月 1 日(火)	第 1 回行財政改革推進懇話会 ・ 補助金見直し評価対象 5 件抽出
平成 26 年 8 月 18 日(月)	第 2 回行財政改革推進懇話会 ・ 補助金見直し評価ヒアリング

5 菊川市行財政改革推進懇話会委員名簿 (敬称略)

区分	氏 名	役 職 名 等
会長	坂本 光司	法政大学大学院 教授 静岡サテライトキャンパス長
副会長	加藤 平三郎	テクノダイナミックス株式会社 取締役会長
委員	藤川 伸二	フジオーゼックス株式会社 取締役 総務部長
委員	村木 正宣	社会福祉法人白翁会 副理事長
委員	戸塚 正晴	トヅカヤ株式会社 代表取締役社長
委員	牧野 百里子	弁護士
委員	福井 逸子	元銀行員
委員	落合 信夫	公認会計士 税理士
委員	齋藤 久司	連合自治会会長
委員	橋本 勝弘	静岡県西部地域政策局 局長